

呉通信

月刊 No.435
2025 年 12 月 20 日
KURE BUSINESS NETWORK NEWS

発行:(一社)広島県中小企業家同友会 呉支部
呉市中通 4-4-7 笹兵衛ビル 101
TEL0823-23-9711 FAX0823-23-9141
<https://www.hiroshima.doyu.jp>
編集責任者:広報委員長 白井 健人



2025年11月15日 芸南地区会 30周年記念事業 より
～継承と革新～
これからの時代を盛り上げよう！

令和7年度 呉支部方針 《スローガン》

Human First！新時代へ挑戦～人を生かす経営の総合実践で、企業づくり・未来づくり

◆ 吳支部会員数 425名 (2025年11月26日現在)
取材先募集中！ ご希望の方は広報委員会事務局まで。

« TOPICS »

特集 芸南地区会 30周年記念事業	2~3
地区会の報告	3~6
部会の報告	6

【特集】芸南地区会30周年記念事業

「継承と革新」

「これから時代を盛り上げよう！」

去る11月15日（土）、吳森沢ホテルにて、「芸南地区会30周年記念事業」が、参加者59名で開催されました。

ここでは、地区会長、実行委員長の感想をご紹介いたします。

《芸南地区会長》
愛鷹海運株 西本 直人 氏

30周年記念事業

を終えて

この度、芸南地区会が30周年という大きな節目を迎えるにあたり、記念事業を無事に開催できましたこと、地区会長として心より深く感謝申し上げます。

まず、これまで地区会を支えてくださった歴代の支部長、理事の皆様、そして会員の皆様のご尽力に、改めて感謝の意を表します。皆様の温かいご支援とご協力があつたからこそ、今まで歩みを進めることができました。その一つのご厚意に、

そして今回、基調講演を快くお引き受けくださったKGモーターズ株の楠一成社長には、特別な感謝の



功労者表彰の様子

言葉では言い尽くせないほどの感謝の気持ちでいっぱいです。

また、記念事業の準備や運営に携わってくださった関係者の皆様にも、心から御礼申し上げます。皆様のご協力がなければ、このような素晴らしい節目を迎えることはできませんでした。

この30年の歩みを振り返ると、多くの方々の支えと励ましがあります。今後も、皆様への感謝の気持ちを忘れず、芸南地区会がより良い組織となるよう、誠心誠意努めてまいります。

最後に、これからも変わらぬご支援・ご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。皆様への感謝の気持ちを胸に、今後も歩み続けてまいります。

《実行委員長》
(有)カーショップサカモト
重森 恵介 氏

培つた絆とエネルギーでさらなる発展を

芸南地区会 30周年記念事業実行委員長の重森です。記念事業が無事、

気持ちを申し上げます。

楠社長のご講演は、私たちに新たな視点と大きな刺激を与えてくださいました。挑戦することの大切さや、未来への希望を感じさせていた

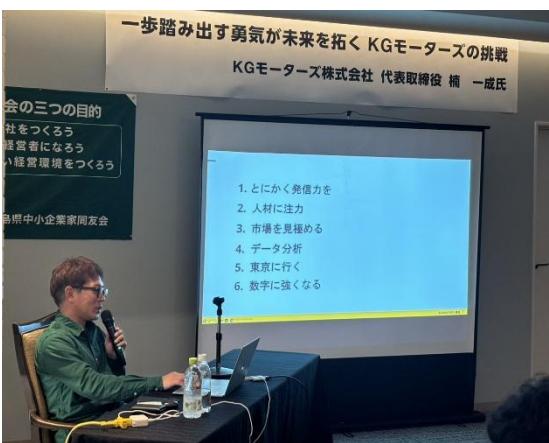
だき、心から感銘を受けました。お忙しい中、貴重なお話をいただきましたことに、改めて深く感謝いたします。

この30年の歩みを振り返ると、多くの方々の支えと励ましがあります。

この度、周年記念事業を開催するにあたり、「（継承と革新）これから時代を盛り上げよう！」というスローガンを掲げ、先輩会員の方々が築き上げてくださった地区会をしっかりと受け継ぎ、次世代へと繋げていけるよう盛り上げていこう決意で準備を進めてまいりました。

会場入り口でお出迎え
(2)

歩踏み出す勇気が未来を拓く KGモーターズの挑戦」をテーマにお話しいただきました。



基調講演の様子

できました。

その後は芸南地区会 20周年年時の実行委員長と地区会長、芸南地区会創設時の吳支部長にも登壇いただきました。

最後に芸南地区会員の紹介ムー

ビーにて感動のファイナーレを迎えました。

本記念事業の成功は、芸南地区会員の皆様の熱意と、ご協力いただき全般的皆様、そしてご多忙の中、

ご参加くださいました皆様のおかげだと確信しております。心より感謝申し上げます。

この記念事業で培った絆とエネルギーを胸に、芸南地区会は今後もさらなる発展を目指して邁進してまいります。引き続きのご理解とご協力をお願い申し上げます。



翌日の記念ゴルフコンペの集合写真



例会の様子

『芸南地区会』

まず自分がどうな

■開催日	11月21日（金）
■会場	ビューポートくれ

出席者
25名

芸南地区会 11月例会は、「稼ぐ力を増やす」いうテーマで、講師に㈱中尾経営の中尾友和氏をお迎えして開催しました。参加者は23名とオブザーバー2名で合計25名の参加でした。

中尾氏から、売上倍増をするための考え方や新規事業を立ち上げるためのアイデアの出し方などを学ばせていただきました。
まずは自分がどうなりたいのか！がとても重要でしつかりした目標を明確にして、どのように売上を増やしていくのかを、考えるヒントをいただけた感じがします。まずは「いい話を聞いた、良かった」で終わるのではなく、学んだことを復習し日々の業務に落とし込んでいきたいと感じました。

今年も残りが少なくなつてきましたが、健康に気をつけながら、充実した1年を締めくくりたいと思いました。



講師を囲んでの集合写真

《広東地区会》

まずやってみる やり続ける

■開催日	11月12日（水）
■会場	シンヨーオークリーナ
■出席者	28名

11月例会では、私の最も尊敬する先輩の一人である三和電気㈱代表取締役社長 渡邊宏文氏に「同友会と企業経営は不離一体」というテーマでお話いただき、同氏のお人柄もあり、普段中々例会に出られない方にも来ていただき、合計で28名の参加となりました。

私はプライベートでも普段から色々なお話を聞かせていただきのですが、体験報告という形でしっかりとお話を聞くのは今回が初めてでした。

渡邊氏は26年前に同友会に入会されたから、これまでずっと「参加した会では必ず何かを持ち帰る」「学んだことはまずやってみる」「やり続ける」ことを徹底されていました。

厳しい時期もありましたが、同友会で出会った先輩や仲間に色々と教えてもらったことを信じて実践し、それらを続けたことで今があると仰っていました。不離一体シート

も交えてお話をいただきましたが、実際に成果も出されており、新しく若い社員も増え、今後益々強い会社にならしていくのだと思います。

最後に、毎年5月にある企業ガイドンスで三和電気さんブースへの来場者はNo.1だったそうです。

ご本人は「ノベルティが良かったから」と謙遜していましたが、渡邊氏の情熱が社員に伝わり、社員が真面目に楽しみながら接遇したからこそその結果だと思います。来年は負けません!!

《広北地区会》

内に秘めた熱い情熱 と行動力に感銘を

■開催日	11月17日（月）
■会場	シンヨーオークリーナ
■出席者	12名

広北地区会 11月例会の報告者は、大西工務店㈱ 代表取締役 大西浩介氏で、「人生交差点 終息から継承へ」と題した経営体験を発表いたしました。

幼少期の宇宙と交信するといった面白いエピソードから、妹の学費のために尽力されたサラリーマン時代、そして倒産寸前の家業に戻つてからの並々ならぬ奮闘が語られました。一度は廃業を考えたものの、社員のために一念発起し、「継承してもらえる会社」を目指して日々を充実させていくという、波乱万丈かつ感動的な内容でした。

発表を通じて特に印象的だったのは、大西氏の内に秘めた熱い情熱と行動力です。ご友人の一言で、素手の雑巾一枚トイレ・手洗いを含むつき方で決めてほしいと交渉して就職されたこと、そして多額の借金を抱えた家業を継ぐという決断。簡単



例会の様子

（記 櫻泰イケン 小尻 大介）

に話されていましたが、当時は並大抵ではないご苦労を伴つたと感じました。しかし、そういうふうな雰囲気を微塵も感じさせない普段の大西氏の柔らかな笑顔に、参加者一同、深い感動を覚えました。

その後のグループ討論では、参加者各自が自身の人生の分岐点を共有し、様々な判断、経験、苦労を乗り越えて「今」があるという確かな実感を得ました。

この貴重な経験値を分かち合える同友会で、さらに学びを深めていくことの重要性を再認識する機会となりました。

例会後の懇親会も、経営談義に花が咲き、実り多きひとときとなり、非常に意義深い例会となりました。



例会終了後の懇親会での一コマ

（記 櫻忠建 藤敏 大輔）

《呉中央地区会》

悩みながらも未来に向かって

■開催日 11月17日（月）
■会場 呉森沢ホテル
■出席者 39名

11月例会は、PIN'S代表奥田茉子氏による経営体験報告でした。キッキンカー経営を中心に奮闘する27歳の奥田氏が、事業への思い、そして若手女性経営者が直面するライフキャリアとの葛藤を等身大の言葉で語りました。

音戸出身の奥田氏は、東京で働いていた際、突然の病を経験。この出来事を機に、「本当にやりたいことをやろう」と決意し地元へUターンしました。呉に戻つてアクセル全開で進んだ奥田氏ですが、その事業展開は単なる思いつきではありませんでした。なぜキッキンカーなのか・なぜSNSに力を入れるのか、1つ1つの選択に明確な戦略性をもって実行に移していました。

奥田氏の報告で参加者の共感を呼んだのは、「アクセルとブレーキ」に関する葛藤です。若いからこそできること、今しかできないことがあると認識しつつあります。

も、今後の結婚や出産といったライフキャリアを考えると、「前に進みたい気持ちは強いが、常に全速力で進み続けられない」という正直な思いを吐露されました。



例会の様子



報告者を囲んで記念写真

一方で、奥田氏は「立ち止まることが見えることもある」「やつて分かったからこそ、やめたこともある」と語りました。それは、挑戦を続ける意味を改めて考える機会に、どのようにアクセルを踏んでいきたいかを考えるきっかけだったことを報告作りを通じて学んだと話します。

自分自身を受け入れ、アクセルとブレーキの両方を抱えて走りたい。自分らしく生きるために、悩み・迷いながらも未来に向かって進み続けるという強い決意が、参加者に深く響きました。

たが今踏みすぎている（or踏めていない）のは挑戦（アクセル）か休息（ブレーキ）か？またなぜそう思っているのか？」。討論では次の三点があがりました。

一つ、健康が資本。

そもそも健康がなければ、アクセルを踏めない。体が何よりも大切な資本である。

二つ、出会いと学び。

アクセルを踏みたけど踏み切れないと、人との出会いや学び切が踏むきつかけになる。

三つ、経営計画。

具体的な経営計画を立てることで、将来、不本意なブレーキを踏まず、踏みたいアクセルを踏みたい時に踏めるようになる。

若さゆえの挑戦と、人生設計における迷いの両方を包み隠さず報告

してくださった奥田氏。彼女の体験は、参加者一人ひとりがブレーキを踏んで自身の経営と生き方を見つめ直し、未来に向けてアクセルを踏み込むための貴重な機会となりました。

（記 ジセダイプロジェクト株
大上 将広）

広報委員会からのお願い

呉支部・青年部インスタグラムアカウント

呉通信

アンケート募集中



フォローお願いします



《広西地区会》

経営の匂いのする忘年会！

■開催日	11月19日（水）
■会場	炭焼 鳥長
■出席者	12名

今年の広西の忘年例会は、1ヵ月前倒しで開催しましたが・・・残念ながら12名の参加に留まりました。



この一年を振り返りました

得る場となりました。

参加者全員に1年の振り返りや、来年の展望を発表して貰いました。

記載できな「えつ！」と言う発表もありましたが、総じて共通してい

たのは地域や社員を大切にする姿勢であり、新しい事へのチャレンジ

意欲など、業種は違えど経営者としての想いは同じだと実感しました。

この繋がりを来年の新たな挑戦へとつなげていきたいと思います。

（記 松栄産業㈱ 土井 康弘）

安部氏の話す内容は経営者以外の方にも響く内容だと委員会で話をした結果、一般参加の方々を呼んでのオーブン例会にしようとなりました。結果、160名を超える一般参加の方に来場していただけました。

上記のご協賛・ご支援を賜りました。この場をお借りして心より感謝申しあげます。

「プロ野球人生と第2の挑戦」

《青年部会》

■開催日	11月8日（土）
■会場	新日本造機ホール
■出席者	200余名（一般含）

終盤に話された「モチベーション」とは何に起因しているのか、外部要因なのか内部要因なのかを理解することで自然と成果につながっていくという話は経営にも繋がることだと思います。経営者はもちろん、社員が会社の「どこにモチベーションを感じているのか」を理解すればより良い会社経営につながるのではないでしょうか。

質疑応答のコーナーでは普段聞くことができない話や、野球チームの子たちへのアドバイス等一つ一つ丁寧に回答していただきました。

参加した経営者はもちろん一般参加の方も多くの気づきや学びがあつた講演となりました。

最後に本講演会を開催するにあ

（記 有川中工業所
川中 雄太）



熱く語る講師の安部友裕氏

それでも異業種の経営者が集う忘年会は、和やかな雰囲気の中で業界を超えた情報交換もあり、先輩会員の経験や視点から多くの学びを